

令和5年度公開保育の実施報告

- 1 日 時 令和6年1月25日（木）9時から
- 2 場 所 認定こども園にこにこ子どもの家 2階保育室
- 3 評価者 3名
- 4 内 容 3歳児から5歳児の混合クラス「あおぐみ」「ももぐみ」の個別活動を参観し評価をいただいた。

<評価票の結果>

保育を参観していただき評価票に記していただく。その後、園長と副園長、担任を含めて話し合いの時間を設けた。

評価票については5段階評価と自由な記載欄を設けた。

<5段階評価>

評価項目	平均評価点数
園の評価目標が反映されているか	4.6
取り組みがねらいにあっているか	4.5
保育者の環境設定は適性であったか	4.5
保育者のスケジューリングは適性だったか	4.5
保育者の言葉選び、行動は魅力的だったか	4.5
保育者の意図が園児に伝わっていたか	4.5
保育者同士の連携はできていたか	4.5
園児は主体性を持って取り組んでいたか	5.0
園児同士のかかわりは良かったか	4.5
園児は楽しんでいたか	4.6
園児は目標に向かっていたか	4.0
園内は保育に適した環境だったか	4.5

<自由記載について>

- ・環境準備に相当な時間をかけて配慮されているように感じた。
- ・数多くの教材が子どもたちの興味を高め、その中で学びが生まれていた。
- ・静かな中にも、子どもたちの笑顔や落ち着いた行動の中に活気があった。
- ・暖かく見守る先生方の視線が柔らかく素敵でした。
- ・公開していただけるなら、個と集団の両方の場面が見られるとありがたい。
- ・素晴らしい機会を頂いた。
- ・広く知らせて保護者に見ていただけたら良い、親も子も勉強になるのではないか。
- ・ひとり、何もしていない子がいた。周りは気ならないようだったのが不思議だった。

- ・あまりの静けさで子どもの気持ちが見えなかった。遊んでいるところも見なかった。
- ・「自発的に行動する子ども、一人でできることを増やそう」というとても大きくて大事な目標に取り組んでおられて今日の参観内容の中からもその一面が拝見できました。先生と子どもたちのアイコンタクトがさりげなくできており子どもたちの安心と自信につながっていると感じた。
- ・一人でできることが共同の力やグループ活動のエネルギーになっていくものと思っています。静かな中にもものびのびと活動する子どもたちの姿が印象的でした。子どもたちの成就感や満足感も満たされることでしょう。

<園長との話し合いから>

Y氏：集団の力を高めるためにはどうしていますか。

担任：集団の時間もあります。ルールのあるゲームをしたり、体操や外遊びもします。その中で子どもたちは、工夫し結束する姿が見られます。

Y氏：子どもたちは家庭に戻ったときはどうですか。

園長：「ひとりでできることを増やそう」を目標に親行を伝える努力をしています。

N氏：保護者の方にも保育参観をしてもらえるといいでしょうね。親の気持ちに変化が生まれるのではないですか。

K氏：環境の準備は大変でしょうね。先生方がそもそも環境の一つですものね。ほかの保育園を参観したことがあります。先生主導型でした。保育園によって違うのですね。子どもたちの多様性には恐れ入りました。

N氏：皆さんに伝えた方がいい。これがモンテッソーリ教育なんですね。

K氏：モンテッソーリ教育を調べてきました。子どもの成長過程が独特なのですね。子どもの評価はどういう姿を捉えるのですか。

担任：できる出来ないではなく、前よりも意欲的かどうかが大変だと考えています。認めて、自信を持ってもらいたいと思っている。

K氏：子どもたちの切磋琢磨する場面についてはどうですか。

副園長：ルールのあるゲームの中では、勝つためにはどうすればよいか。子ども同士で話し合う場面があり大変すばらしいと感じる。

K氏：一人の姿が育つ。だから集団活動が生きる。自発的に並んで待つ姿が見られた。素晴らしいと感じた。

園長：これからは私たちには子どもたちにとってより良い環境の一人であることを自覚し学び続けたい。貴重なご意見をありがとうございました。



<園の自己評価>

- ・公開保育は初めての試みだった。参観される方々は事前に学んで望んでくださった。貴重なご意見を頂けた。
- ・保育環境をより意識的に準備していくことで子どもたちに変化が見られ、大変落ち着いていった。改めて環境準備の大切さを感じた。
- ・自分たちが軸にしている保育理念の意味を言葉で表現する難しさを知った。保護者や第三者の方々に理解してもらえる表現の方法を学んでいきたい。
- ・令和6年度の公開保育について早々に話しあっていくこととする。